事務事業評価シート

(評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

① 事務事業名	観光振興事業				② 事業番号	3423	
③ 事業類型	7. 負担金・補助金事業			④ 開始年度	平成 24 年度	⑤ 終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥ 根拠法令等	法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	○ その他	法令等の名称: 泉南市観光振興ビジョン
⑦ 実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	○ その他		
⑧ 関連予算科目コード	款	6	項	1	目	5	細目 2
⑨ 担当部名	⑩ 担当課名			会計			
市民生活環境部	産業観光課			一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	②	
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市観光協会、根来街道グリーンツーリズム振興協議会、(一社)KIX泉州ツーリズムビューローに対する補助金及び負担金を通して観光振興をはかるもの。平成24年、泉南市観光の中核をなす組織として設立された泉南市観光協会の運営に係る補助金を支出することで支援をはかる。広域観光施策として、泉南市から岩出市へとつづく、根来街道においてグリーンツーリズムに係る検討、観光ビジョンの策定、PR、イベントの実施等をおこなう根来街道グリーンツーリズム振興協議会へ参画するほか、平成30年度に設立された(一社)KIX泉州ツーリズムビューローへも参画し、これまでの泉州観光プロモーション、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会、泉州国際マラソンの主要事業として継承するものであり、南泉州における広域観光施策の要となるものである。	① 泉南市観光協会イベント数	回
	② KIX泉州ツーリズムビューローイベント数	回
	③ 根来街道グリーンツーリズム協議会イベント数	回
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市内外からの誘客を目的とし、本市観光の要となる泉南市観光協会が発展を期するもの。観光案内所の設置により、泉南市の観光都市泉南市の知名度の向上を図る。根来街道グリーンツーリズム振興協議会では、府県、市町村を跨いだ根来街道という枠組みのなかで、本市観光機能・体制の充実を図る。(一社)KIX泉州ツーリズムビューローではインバウンドの誘客を柱として、観光にかかるインフラの整備、泉州国際市民マラソンを主催することで、泉州地域をエリアとした広域的な観光振興を強力に進める。	① 泉南市における休日滞在人口	人
	② 計算式: 土日祝日に2時間以上滞在した人口(平均)	
	③ 計算式:	
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
泉南市観光協会を通じて市内観光施策の充実を図る。根来街道グリーンツーリズム振興協議会へやKIX泉州ツーリズムビューローへ参画することで、府県、市町村をこえた広域観光を推進することができる。 【その他の体系上の位置付け】 (3-4-1-1): 観光協会の充実支援 (3-4-1-2): 観光案内所の設置・運営 (3-4-1-3): 泉南市観光情報の収集、発信 (3-4-2-1): 観光資源ルートの整備 (3-4-2-2): 新たな観光資源の開拓・整備 (3-4-2-3): イベント等の開催 (3-4-2-4): フィルムコミッション活動の推進を行う。	政策(章)	3 産業の活力が増し、にぎわいと交流が生まれるまち
	施策大(節)	4 豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします
	施策中	1 観光機能・体制の充実
	施策小	4 広域観光の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	62,549	61,984	61,457	—	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	泉南市観光協会イベント数	回	12	11	4	—	—	
活動指標②	KIX泉州ツーリズムビューローイベント数	回	—	6	10	—	—	地域経済分析シス テムによる。
活動指標③	根来街道グリーンツーリズム協議会イベント数	回	5	2	1	—	—	
成果指標①	泉南市における休日滞在人口	人	130,000	130,000	130,000	—	—	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人	1.28	0.50	0.63	0.63	
		任期付職員	人	1.38	1.53	0.54	0.54	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	14,667	9,072	6,699	6,699	
	直接事業費	千円	4,252	15,316	14,226	11,752		
	総事業費	千円	18,919	24,388	20,925	18,451		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	4,081	3,941	3,812		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	505	10,206	0	0		
	一般財源	千円	18,414	10,101	16,984	14,639		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	観光振興への関心が高まる中、平成15年度に根来街道グリーンツーリズム振興協議会が、24年度には市観光協会が設立され、さらに30年度に泉州観光プロモーション、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会、泉州国際マラソンを継承する機構として、KIX泉州ツーリズムビューローが設立された。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	国のデジタルジャパン等、観光への関心が益々高まりつつある。また、関西国際空港の開港の地元市である強みを活かした取組を進めることで、内外からの観光客の呼び込みが必要である。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	観光協会ではより効率的な事業実施のため、組織体制の見直しを進めている。また広域的な取組の中であつても企画段階から積極的に事業参画をしている。

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	観光協会への支援は、上位施策そのものである。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	観光都市を目指す泉南市において、泉南市観光協会への支援や広域的な観光施策への参画を進めることで、観光客の増加につながり、将来的に税収の増加、観光産業の育成につながる。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	国を挙げての「観光立国」の推進に合致し、さらなる振興が望まれる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	事業の廃止は、観光振興に多大な影響を与える。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	継続的なイベントの企画など、期待どおりの成果をあげている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	新たな観光資源の発掘、開発等により、さらなる成果向上を図る必要がある。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	類似の事業はないが、他部署との連携により、観光の広がりが見込める。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	今後の課題として、各組織、機構が継続可能な自主運営をはかる方策を検討する必要がある。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	観光協会独自の歳入の確保を図っていく。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	将来的には独立採算できる体制が必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

<p>ア</p>	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 (___ 年から)</p>
<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>	
①改革、改善の具体案、実施年度など	泉南市観光協会の収益事業について検討する。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	観光振興に関する課題として、旧来の観光資源の発掘と活用、新たな観光資源の開発、新しいアイデアによるイベントの実施、人材育成、産業育成等が挙げられるが、いずれにしても担い手である市民の協力なしには成り立たないものである。今後も行政と地元地域とが一体となった振興策を講じる必要がある。